武田氏館跡と現在の甲府の町並み

復元整備が進む館跡

① 武田氏館跡西曲輪北枡形虎口

② 武田氏館跡主郭大手虎口

アクセスMAP

お車利用の場合　中央自動車道甲府昭和 I.C からアルプス通り経由で約 20 分

JR 利用の場合　JR 甲府駅（北口）からバス利用で約 10 分
（山梨交通「武田神社」行または「積翠寺」行にご乗車ください。）

館内案内図

観覧料（特別展示室）

	一　般	高校生以下
個　人	300 円	無　料
団体（20 人以上）	240 円	

※ 開館時間：午前 9 時～午後 5 時　休館日：火曜日、12 月 29 日～31 日

お問い合わせ

信玄ミュージアム（甲府市武田氏館跡歴史館）

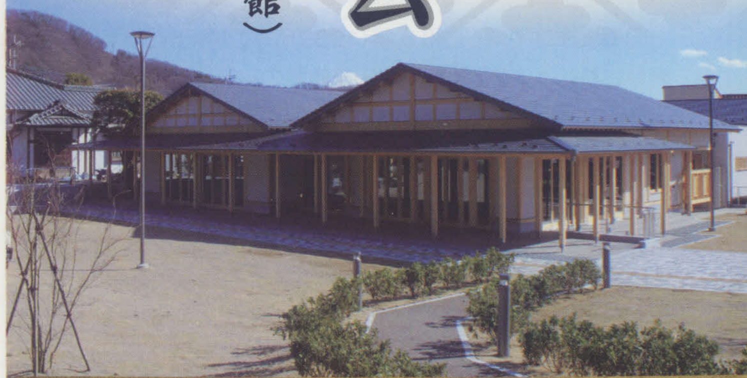
☎ 055-269-5030

所在地：〒400-0015 山梨県甲府市大手三丁目 1 番 14 号

永正十六年（一五一九）、
武田信虎によって躑躅が崎の地に造営された武田氏館と
新たな甲斐府中（甲府）。
甲府の歴史はここから始まった。

信玄ミュージアム

（甲府市武田氏館跡歴史館）



SHINGEN MUSEUM

旧堀田家住宅（堀田古城園）

主屋（学習室）

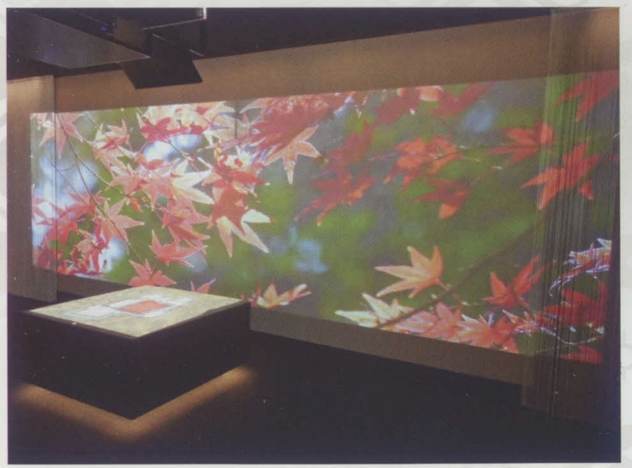
茶室外観

旧堀田家住宅は、昭和８年（1933）に割烹料亭として開業された木造家屋群で、武田氏館跡の存在を意識して「堀田古城園」と名付けられました。昭和初期の近代和風建築の様式で、建具やガラスなどもその当時のものがそのまま残されています。主屋、長屋棟、離れ３棟、木戸門があり、主屋は講座等を行う学習室や休憩場所として活用します。離れの１棟は菱形の建物で茶室として改修しています。長屋棟では飲食も楽しめますので、自由にご見学ください。

常設展示室

武田氏三代を始めとする武田氏館跡に関わった人々の歴史や移り変わり、この館跡の概要や見所、そして、戦国時代に武田氏領国の中心として栄えた「甲府」の様子を紹介しています。

其疾如風
其徐如林
侵掠如火
不動如山

特別展示室

発掘調査で明らかにされた戦国時代の武田氏館跡と甲府の町の構造や変遷を出土品とともに詳しく紹介しています。展示室奥の映像展示室では、若き日の武田信玄が登場し、武田氏館での出来事や往時の姿を紹介しています。